



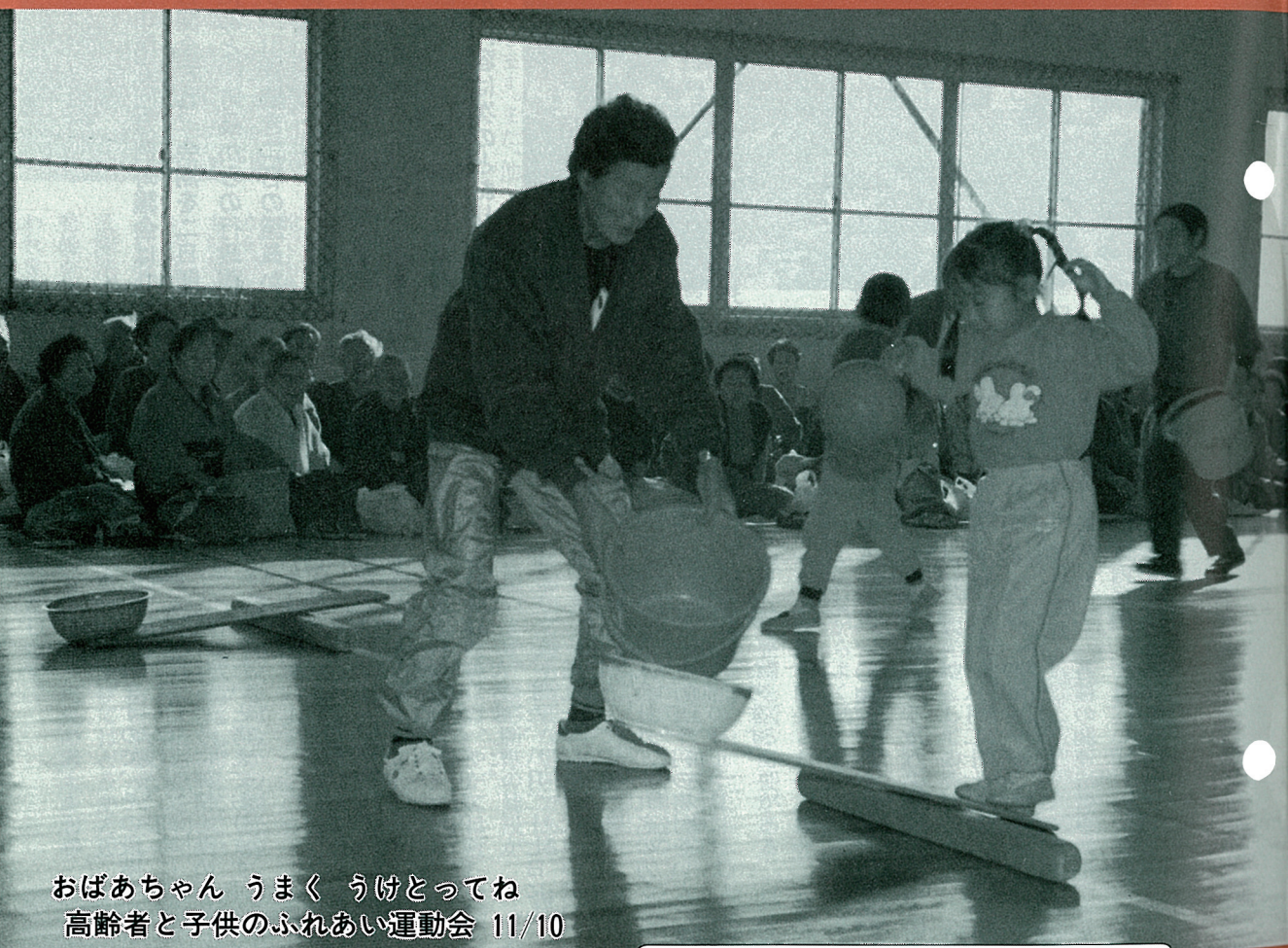
広報

りしり

平成元年

11月号

No.225



おばあちゃん うまく うけとってね
高齢者と子供のふれあい運動会 11/10

■人口と世帯■

世帯数	1,372	(±0)
人口	5,141人	(-5)
男	2,561人	(-2)
女	2,580人	(-3)

平成元年9月末日現在
(住民基本台帳登録人口)

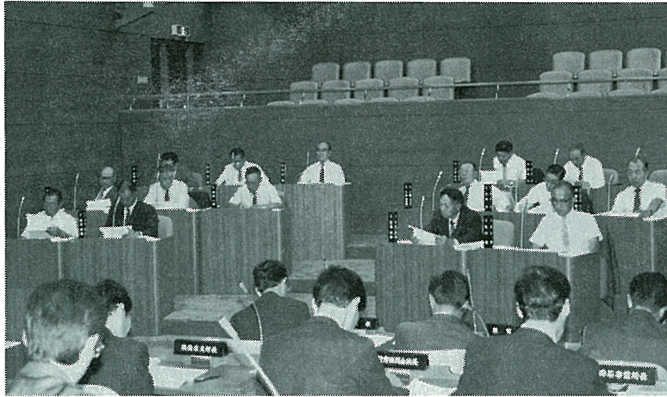
■おもしろ内容■

- 2～7…議会だよりー第5回定例町議会ー
- 8………わがやのアイドル㉓
- 9………クオリティオブライフを求めて㉑
- 10………りしりの博物誌(りしりの語り㉒)
- 11………町内児童健脚を競う
- 12………土曜閉庁のお知らせ
- 13………消防だよりNo.37
- 14………戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録11月1日現在 92日

議会だより 第5回定例町議会(9月19日)

一般会計予算など1億3千9百61万4千円を追加



平成元年第五回定例町議会は九月十九日開会され、会期を二日間と決めたあと、町長からの行政報告があり、引き続き二名の議員から一般質問がおこなわれました。その後、議案九件が提案され、いずれも原案どおり可決し、会期を一日繰り上げて同日閉会しましたが、その内容は次のとおりです。

行政報告

○砕石プラントについて

昨年度から二カ年計画で建設を進めてまいりました砕石プラントが予定どおり完成いたしました。

○利尻空港の

拡張整備について

七月二十五日から二十八日まで、東利尻町の安達町長と、利尻空港の拡張整備について開発庁と地元出身の国会議員に陳情を行ってまいりました。

しかし、現段階では滑走路の設計が定かでなく、また、現在使用しているYS機の耐用年数があと七、八年よりないそうですが、その後の機種が決まっていないうことで平成二年度の予算づけはまず不可能という状況であります。しかし、エアニーッポンとしては年内に機種を決定したいという情報もあ

りますので、その段階で平成三年度予算計上と同時に即着工となるように陳情を進めてまいりたいと考えております。

○寄付金について

八月七日に、札幌市の新弘建設株式会社代表取締役 神弘さんから三十万円の寄付をいただきました。

また、八月二十七日にも、開基九十年記念の式典の際のご祝儀として、東日本海フェリー株式会社社外二十九名の方から三十七万五千円の寄付をいただき、今回の補正予算に計上いたしております。

○開基九十年記念式典

及び祝賀会について

八月二十七日に、開基九十年の記念式典及び祝賀会を行いました。また、この開基九十年の各種の関連協賛事業につきましては、いずれも天候に恵まれ、そのほとんどを無事終了するこ

とができました。町議会のみならず、町民のみなさんのご支援、ご協力に対しまして厚くお礼を申し上げます。

○天皇、皇后両陛下の

御奉迎、御奉送について

九月十五日に、天皇、皇后両陛下が稚内市をご訪問になりましたので、御奉迎、御奉送のため稚内へ行ってまいりました。



砕石プラント

一般質問

第五回定例町議会において、二名の議員の一般質問がありましたが、その要旨は次のとおりです。



大腰 議員

一、ふるさと創生事業について

まちづくりのために国から交付された一億円創生事業の実施については、当町においても議会とともに慎重に検討いたしているものであります。これが実施にあたりましては、当町部内において構成されている審議会が取りまとめることになっており、過般行われた議会において、いまだ決定されていない状況にあるため、近く部内におい

て検討決定される運びとなっているとの町長からの答弁でありました。

その後、当町の開基九十年記念式典が行われ、歴史の重さを再確認させるのに十分なイベントが実施され、創生事業に対する第一号として、「ニシン沖揚音頭保存会」に対しての助成が決まったようで、保存会創設の成果に対しては町民からも好評を得ておりますが、その他の事業に対し助成されているものがあるのか、現在まで創生事業の実施に対し助成された内容についてお尋ねいたします。また、他



利尻町開基90年記念式典

の事業について、部内において現在取り扱いが決定されているもの及び今後の見直しなどについてもお尋ねいたします。

二、杓形公園地帯の整備について

当町は、全町挙げて観光受け入れ態勢の整備を行っておりますが、杓形岬公園につきましても着々と施設その他の整備がなされており、観光客も年を重ねるごとに数多く見受けられ、まことに望ましいことと存じております。

また、この公園付近に建設されている杓形新港も、計画通り完成されようとしており、当港湾施設が杓形岬公園内の観光施設でもあるかのようにその全容が形成されてきており、観光客も好感を持つものであると確信いたしております。

この両面の状況から見ても、公園内、及びこの周辺の環境の整備が今後最も肝要であると思われれます。杓形港ターミナルか

ら公園内に通ずる道路周辺には、あまり使用されず、老朽化している家屋、倉庫等が見受けられ、観光地としての美観が若干損なわれているように思われますので、建物所有者に理解を求めながらよく話し合せて、これらの建物を除去されて、観光地として整備を図る必要があると思えます。

なお、つけ加えて町長に率直に申し上げますが、この周辺の土地はご承知のとおり当町にとっては観光産業を振興する上において最も重要な場所であると思えます。杓形新港の建設が完成された暁には、やがては近い将来開発の施設も撤去されるものと思われれます。また、現在運営されている杓形港ターミナルもやがては新港近辺に新築されるものと思えます。このターミナルの施設を何らかの観光施設に内容を改造等も考えてこれこそ創生事業による財源を利用され、総合的に一大観光イベントをつくり上げてはどうかと思われれますが、町長の考えをお尋ねいたします。

三、国民宿舎の改築について

本件については、今さら申し上げるまでもなく町理事者、議会とともに慎重に検討を続けており、町民も深い感心を持って見つめており、諸般の状況から見ても町長の決意が迫ってきているものと思われれます。現時点においての町長の考え方、または今後この問題についての対応策等についてお尋ねいたします。

なお、私の考えとしては、国民宿舎の運営については、所管



国民宿舎りしり

の常任委員会もあります。この問題は本町の将来に向かっての大変重要な懸案事項でありますので、この際、町長の諮問機関としての特別委員会等を設置し、慎重に検討されてはどうかと思いますが、町長はどのように考えておられますか、お尋ねいたします。

答 弁

第一点のふるさと創生事業についてですが、現在までに三件決定しております。

一つは、利尻町の「ニシン沖揚音頭保存会」、これは、事業費が二百十萬円で、助成決定額が百九十九萬五千円です。

それから二つ目は、合唱サークル「うたごえんど」、これは事業費が七萬五千円で、全額助成を決定しております。この二つにつきましては、開基九十年祝賀会のアトラクションで非常に好評を博しております。

もう一つは、宗谷教育年の実行委員会に対しまして、事業費



が五十萬円で、助成決定額が三十萬円です。内容につきましては、昭和六十三年年度、それから平成元年度宗谷教育年ということで、本年は稚内で会合があり、その後、杓形岬で全国の子育て交流会というのが開かれました。イベントとしては、島まつり、登山コース、それから釣のコースというような三部門に分かれ、参加者が二百二十三名、島外、道内もそうですが、内地からもかなりの人が親子連れで参加し、三つのイベントを行いました。

以上、三件で合計助成金額が

二百三十七萬円です。

それから、今後の見通しですが、現在のところ商工会の青年部が冬のイベントとして雪まつりを行いたいという希望があるようですが、具体的な計画についてははまだ出てきておりません。そのほかのものについては、現在のところ来ておりませんが、年度末までに出てくる可能性もあると思います。

第二点目の杓形岬の整備についてですが、ご指摘のとおりだと思います。確かに老朽化した建物がかかりあり、見苦しい面もあると思います。ただ本年すでに話し合っており、壊したのも一棟ありますので、その他の建物につきましても、所有者と十分話し合ってみたいと思っております。

ただ、民有地ですので難しい面もありますが、努力したいと思っております。

それから、ターミナル施設の改修の問題ですが、確かにあの場所は私にもいい場所だと思いますし、一時ターミナルの後あた

りにターミナルとつないでホテルの構想なども考えてみたことがありますが、現在それは持つておりませんが、確かにいい場所だと思えますので、将来に向かって検討してみたいと思えます。

第三点目の国民宿舎の改築の問題ですが、確かに利尻町の宿舎施設は不足していると思います。私は、できれば民間でやって

くれる方がよいと考えております。実際に民間で計画した方もありましたけれど、資金面の都合がつかずあきらめたという経緯があります。今後も民間建設は難しいのではないかと考えております。

また、本年は、観光客の入り込みが非常に増え、今年から就航した杓形、香深間の航路も、八月末で一萬二千人余りの人が利用しております。そういう状況を考えますと、私は現在の国民宿舎を増改築すべきだと思っております。

経営につきましては、国民宿舎としての経営は、料金が低料

金で制約されておりますので、一般のホテル、旅館のような経営にすべきではないかと思っております。

ただ、この問題につきましては、将来の財政負担をどの程度にとどめるかということが大きな問題だと思います。国民宿舎の増改築を行うことにより、将来利尻町の他の行政サービスが低下するようなことになってはいけないと思っておりますので、その辺も十分考慮する必要がありますと思えます。したがってこの増改築につきましては、建設規模あるいはその収容人員の問題、町営にすべきか民営にすべきかという経営方式の問題、それから補助制度や低利な借入金など資金計画の問題、こういったものを部内で十分検討し素案をつくって、本年中に議会の協議会で議員のみなさんと協議して結論を出したいと考えております。それから、諮問機関の設置につきましても、その決定の後

の問題として、議員のみなさんと十分協議の上決めるべきものだと考えております。



原崎 議員

一、道路関係について

町道に面する急傾斜地の改修工事後、年数の経過もありますが、土砂崩防止のため施工された強化プラスチック製枠型の破損が非常に甚だしく、これが落下による損傷、また自然環境の破壊防止等からも早急に手直し工事をすべきと思いますが、町長の考えをお聞きしたいと思います。

二、神磯地区道々の 改修工事について

道も町も真剣に交通安全対策と取り組んでいると思いますが、この地域は、利尻町内では一番交通安全上危険な所であり、付近の住民は、いつ暴走

車が飛び込んでくるかと夜もおちおち寝ていられないとのこと。いろいろな事情はあることでしょうか、道路交通行政の本質を地域の住民に理解していただき、一日も早い着工を望みますが、これの事情はどのようになっているのか、説明をお願いします。



神磯地区の道々

三、町内の観光地、各施設等の 案内標示柱、板について

町内のあらゆる地区、観光地、地域、また各施設等の案内標示柱、案内標示板の数を増や

四、老人福祉関係に ついて

すということはもちろん、その地域地域にふさわしいアイデアに富んだユニークな、親切案内標示が望まれるのではないかと思います。町長のお考えはどうでしょうか。

一つは在宅老人、言ってみればお年寄りになるとどうしても病弱者が多いわけですが、そのためのデイ・サービスセンターあるいはリハビリ施設の計画についてお聞きいたします。

このことについては、わが利尻町の振興計画の前期にもこのようなことが少し見えておりますが、具体的に積極的はこの施策を進めるべきではないかと、こう考えて町長の意見をお聞きします。

それからもう一つは、仙法志の元寿の家の利用許可と、これの存続方についてひとつ考え方を、また要望があるので町長の考えをお聞きします。

五、自然環境保全について

ご承知の幌延の高レベル放射性廃棄物貯蔵・研究施設（貯蔵工学センター）の誘致の件ですが、わが利尻町も当該地幌延町とは一衣帯水の地にある関係上、極めて重大関心事と言わなければなりません。科学的な安全性の上からも、これが建設に對して町長のご意見をお聞きします。

具体的には、幌延町あるいは動燃などの関係機関からの理解あるいは協力方の要請が町長にあったのかどうかということ、また科学的安全性の問題については、学者間ではいろいろ意見がまちまちであると私たちは感じています。論がわかれていたことが多く、そのような状態であると我々は非常に不安であり、また万一のことを考えれば全く憂慮にたえないわけです。

健康上のことはもちろん、水産物の安全性の上からも、これが知識の啓蒙、啓発に努力すべきであると思いますが、具体的お

答 弁

考えを開陳願います。

第一点の町道に面する急傾斜地の改修の問題ですが、これは神磯、政治地区だと思えます。神磯地区につきましては、今回の補正予算に計上しており、本年施工したいと考えております。

政治地区につきましては、非常に延長も長く、かなりの工費がかさむと思えますので、明年度の実施で検討をしております。

第二点目の神磯地区の道路改良の件ですが、利尻町の中でも一番狭いので交通安全上からも早急に改良を要する地域であります。当地区は、海側は海岸保全施設や干場であり、山側は住宅の背後地にすぐ崖地があります。道路の拡幅にはどうしても住宅や倉庫の移転などが必要となり、これの補償費や用地の確保のために交渉にあたってい

るようですが、一部折り合いが
ついていないところもあり、遅
れている状況にあります。私も
今後積極的に当地区の道路改良
を道に要望し、できるだけ早く
着工するように進めてまいりた
いと考えております。

第三点目の案内板、案内柱の
問題ですが、観光施設等の案内
板は、特別地域によって制限さ
れているものもありますが、そ
れ以外の地域で不足しているも
のにつきましては部内で十分検
討の上、親切な案内標示がされ
るように、増やしていきたいと
考えております。

第四点目の老人福祉関係です
が、利尻町も高齢化が非常に進
み、老人福祉施策につきまして
は極めて重要であります。

デイ・サービスセンターは本
年度の振興計画の中にありませ
んけれども、将来、特養あるい
は中間施設を建設する段階で、
リハビリ施設を含めて十分検討
してみたいと思っております。
今後この問題につきましては、

私も職員もこういう施設の視察
なども行い、研究、研修をした
いと考えております。

次に寿の家の利用存続のこと
につきましては、公民館の建設
後は取り壊すということになっ
ておりますので、現在のところ
存続する意思はありません。

ただ、今お年寄りがノリのす
だれを作るとか、あるいは竹細
工をやりたいとか、そういう作
業をするために使用したいとい
う要望も聞いておりますので、
取り壊す前までは使っていただ
いて結構ではないかと考えてお
ります。

取り壊し後は、やはり広い立
派な公民館があるわけですし、
そこに集会施設もありますの
で、この公民館の和室、あるい
は大ホールなどを使用してい
たきたいと考えております。

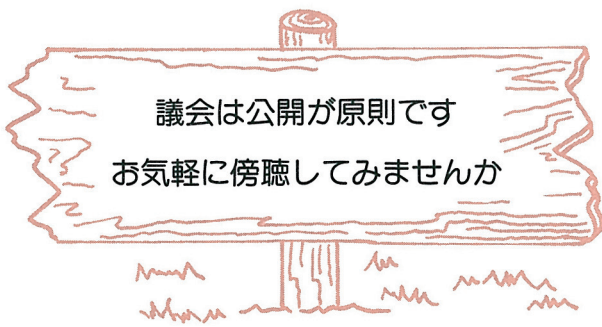
最後の幌延問題につきまして
は、昭和六十年に宗谷支庁にお
いて、横路知事から管内の町村
長の意見を聞かれたことがあり
ます。そのとき私は、知事に次
のように申し上げております。

まず第一点には、基本的には
この高レベル放射性廃棄物の処
分の適地について、国が全国の
地層を十分調査して、また周辺
の環境も考慮して最適の候補地
を選定すべきではないかと思
う。そういう調査の中でその候
補地に幌延が適当だというのな
ら納得はできると、ただ、一市
町村が過疎に歯止めをかけるた
めに要望したから、そこに誘致
するという性格のものではない
のではないかと申し上げてきま
した。

第二点としては、それほど危
険性がなくて安全なものなら
ば、北辺の幌延でなくても、幌
延というのは北辺で非常に輸送
費だって多額にかかるわけです
から、そこへ選定しなくても東
京なり原子力発電所の付近の方
がより便利ではないのかと申し
上げました。

結論としては、私は賛成か反
対かではなく、この問題はそれ
以前の問題であると、つまり科
学的な安全性の確保が一番大事
な問題であると申し上げてきて
おります。

このことは、帰りまして議会
の協議会にも報告し、議員のみ
なさんからも了承をいただい
ております。したがって、私は百
パーセントの科学的な安全性を知
事に協調したわけですから、今
でもその考えは変わっておりま
せん。



議会は公開が原則です

お気軽に傍聴してみませんか

◎利尻町の休日に関する条例
この条例は、月二回の第二、
第四土曜日を休みとする土曜閉
庁方式を平成二年一月から導入
することにより、関係する現行
の休日をあわせて制定したもの
です。

◎利尻町職員の勤務時間に関する
条例の一部を改正する条例
この条例は、土曜閉庁方式の
導入により、職員の勤務時間を
二時間短縮し、一週間の勤務時
間を四十二時間に改めたもので
す。

◎利尻町職員の休日及び休暇に
関する条例の一部を改正する
条例
この条例は、年末年始の休日
を実態に即して改めたもので
す。

◎利尻町職員の給与に関する条
例の一部を改正する条例
この条例は、土曜閉庁方式の
導入により、寒冷地手当の支給
基準日等の関係条文を改めたも
のです。

条例改正

各会計
補正予算

◎平成元年度利尻郡利尻町
一般会計補正予算

(第四号)

この予算は、これまでの予算に歳入歳出それぞれ七千六百四十万円を追加し、予算総額を三十二億七千五百四十万円とした。追加された主なものは、歳入では、地方交付税、教育費補助金等です。また歳出では、国民宿舎会計繰出金、杓形小学校放送設備整備費、積立金、支所車庫新築工事費等です。

◎平成元年度利尻郡利尻町
簡易水道特別会計補正予算
(第一号)

この予算は、これまでの予算に歳入歳出それぞれ七百十三万円を追加し、予算総額を六千四百五十一万五千円としました。

◎平成元年度利尻郡利尻町砕石
事業会計補正予算
(第二号)

この予算は、収益的収入及び支出の既定予定額にそれぞれ五千六百八万四千円を追加し、収入予定額を五億八千六百七十四万六千円、支出予定額を五億二千四百七十一万五千円としました。

決算認定

◎昭和六十三年

利尻町公営企業会計
決算認定について

利尻町砕石事業会計決算が監査委員の意見書を添付して確認に付された結果、原案のとおり認定されました。なお、決算の内容等は次のとおりです。

昭和63年度

利尻町砕石事業決算報告

(1) 収益的収入及び支出

収 入 (単位: 円)			
区 分	予 算 額	決 算 額	増 減
事業収益	756,325,000	782,063,687	25,738,687
営業収益	731,820,000	755,106,585	23,286,585
営業外収益	20,005,000	22,742,102	2,737,102
特別収益	0	0	0
繰越製品	4,500,000	4,215,000	△ 285,000

支 出 (単位: 円)			
区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
事業費	620,530,000	609,485,204	11,044,796
営業費用	467,530,000	459,195,445	8,334,555
営業外費用	0	0	0
特別損失	150,000,000	150,289,759	△ 289,759
予備費	3,000,000	0	3,000,000

(2) 資本的収入及び支出

収入なし			
支 出 (単位: 円)			
区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
資本的支出	104,395,000	103,185,000	1,210,000
建設改良費	103,395,000	103,185,000	210,000
長期貸付金	0	0	0
予備費	1,000,000	0	1,000,000

資本的収入額が資本的支出額に不足する額103,185,000円は当年度損益勘定留保資金103,185,000円で補てんした。

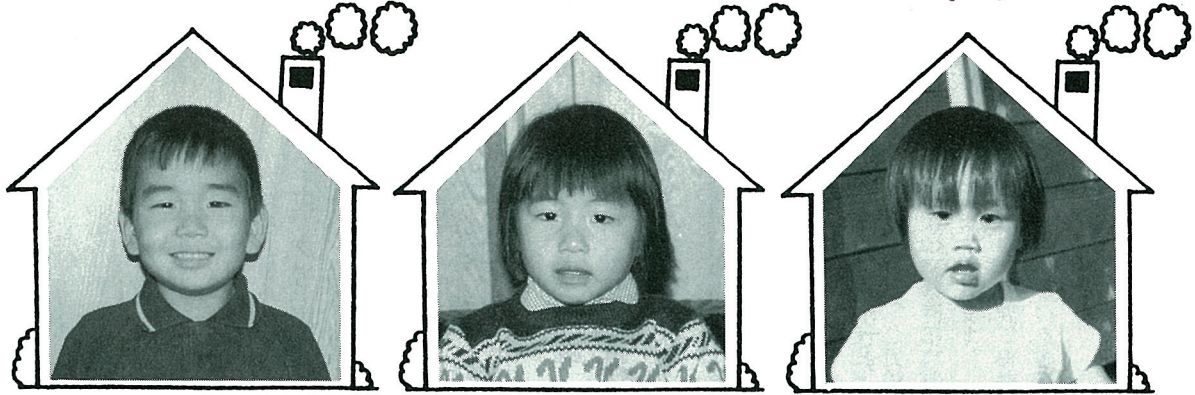
昭和63年度
利尻町公営企業会計決算審査意見書

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された昭和63年度利尻町公営企業会計決算を審査した結果は、次のとおりである。

1. 審査の対象
昭和63年度 利尻町砕石事業会計決算
2. 審査期間
平成元年7月26日、27日、2日間
3. 審査場所
役場庁舎監査委員室
4. 審査の方法
この決算審査に当たっては、利尻町長から提出された決算書類が、当該事業の財政状態及び経営成績を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計帳票、証拠書類との照合等のほか、必要と認めるその他の審査手続きを実施した。
5. 審査の結果
当会計の出納閉鎖時期等については、法定期限を遵守しており、決算審査に付された諸表は各事業の財政状態を適正に表示しており、関係諸帳簿及び証書類とも照合の結果、不適合はなかった。
6. 審査結果及び意見
最近の国内景気は、円高不況を脱して近年にない大型景気で、この景気はなお持続されると報道されており、ここ当分は販売量の確保が期待出来る状況にあるので、引き続き災害防止を最重点とし、関係設備の点検はもとより、労務者の健康管理等にも十分配慮されながら一層の企業努力に努められるよう希望する。

利尻町監査委員
平田 寛
不破 保

わが家のアイドル



沓形字泉町

安田 洋介くん
(4才)

父： 功
母：まり子

沓形字本町

松村 真由美ちゃん
(3才)

父：栄 悦
母：睦 美

沓形字泉町

矢田 充貴くん
(3才)

父：秀 喜
母：恵久子

看護婦募集

- ◆募集人員 1名～2名
 - ◆応募資格 看護学校新卒者、または看護婦・准看護婦の有資格者(35才位まで)
 - ◆給与等 当院規定による。(経験年数加算)
 - ◆応募方法 履歴書(写真添付)免許証写し(卒業見込書)を郵送又は持参
 - ◆その他 看護婦宿舍あり(バス、トイレ、台所付)
- ※詳細については下記へ御連絡下さい。

利尻島国保中央病院

☎ (01638) 4-2626



日本赤十字社有功章
銀色有功章受賞

このたび、沓形字富士見町、成田利實さんと沓形字緑町、岡本一民さん、沓形字本町、高山博通さんの三名が、三十回以上の献血に協力され、日本赤十字社より銀色有功章を受与されました。

成田 利實さん
岡本 一民さん
高山 博通さん

クオリテイオブライフを求めて⑨

利尻島国保中央病院 院長 尾畑弘美

皆さん、血圧を測定したこと
がありますか？

血圧は、私たちが生きてゆく
ためには、必要不可欠なもので
あり、全身の臓器や筋肉に血液
を送るための圧力なのです。し
たがって、動脈硬化により血管
が細ければ、高い圧力が必要で
すし、また血管が柔らかければ、
圧力は低くてすむのです。

正常血圧は、個人差もありま
すが、収縮期血圧百四十以下、拡
張期血圧九十以下といわれ、収
縮期血圧百六十、拡張期血圧九
十五以上を高血圧といえます。

これは、あくまでも安静時の血
圧を意味し、一時的な血圧の上
昇は関係ありません。

最近では、病院の外、役場や
薬局、また自宅にも血圧計が普
及し、日常の関心事になってお
ります。外来にも、役場で測定
したら、『上の血圧が百八十もあ
ったのでビックリした』といっ

て病院にくる人がいます。

しかし、安静後に測定すると
むしろ血圧が低い人もおります
ので、一回の測定であまり不安
になる必要はありません。むし
ろ、不安によりさらに上がり、
『あたって』しまつては大変で
す。

では、血圧が高くなれば、な
ぜ、悪いのでしょうか？

これは、皆さんもよくご存じ
と思いますが、高いとそれだけ
血管が破れる確率が高くなるわ
けです。人間の血管で一番もろ
く、また破れることにより障害
が強いのは、頭の中、つまり脳
です。『仕事中に急に意識がな
くなった』、『朝起きてトイレにい
ったあと左半身が動かなくなっ
てきた』などは、代表例で、い
わゆる脳溢血（脳出血）です。
でも安心ください。人間の血
管は、血圧が三百以上になつて
も破れないといわれます。また、



最近では、高血圧治療薬の進歩に
より、血圧も容易に下がる時代
になってきました。
次回からしばらく、この血圧
について述べてゆきたいと思
います。

町内小学校児童

サケのつかみ捕りに挑戦!!

去る十月十四日、長浜のサケ
マスふ化場で、町内各小学校よ
り約二百名の児童が参加してサ
ケのつかみ捕り大会がおこなわ
れました。

児童たちは歓声をあげながら
サケを追いかけ回し、つかまえ

たサケを賞品にもらい大喜びで
した。

また、会場にはサケ鍋も用意
され、見物におとづれた人たち
にもサービスされ、秋晴れのな
か楽しい一日となりました。





(79)

利尻の語り(40)

鳥取県からの開拓移住

語り 熊 中 太 郎 さん

鳥取県からの移住者は、因幡州と呼ばれ、利尻では、仙法志の長浜、鬼脇の清川に多くの人が移り住みました。

今月は因幡から利尻に渡ってきた語りを紹介します。

「私はね、鳥取の因幡ってところから五才のときに、父と母に連れられてここに移住してきたの。大っきい帆船船にのってね。一ヶ月も二ヶ月もかかって着いたんでないですか。

着いたのは鬼脇の港、それで分散したんだけど、大体がみんな清川ってところに落ち着いたわけなんです。

なんのわけで、利尻に来たのかわかんないけど、鳥取に、こっちに来るつちゅう仲間がいたんでしょよ。」

利尻ってところは魚が獲れるとかなんとかってね。

で、私の母親は因幡で海女やってたんです。利尻に来てからはやらなかったけど、その当時は、海女なんて許可なんてなかったんでしょ。

私が五才のときに渡ってきて、小学校の尋常科の一年生の頃だらね、この辺全部、松原なんだ。で、道路も満足なものないの。うっそうたる松原でね、道路なんて波打ぎわの近くにあってね。

この部落の神社も、今の道路の下側にあったのさ。

それで、清川ってところはね、蟹罐で栄えてね、蟹罐工場、四ツくらいあったんですよ。

昔はね、まだ潤がなくてね、苦勞して蟹とって、そして罐詰つくって、そしてアメリカに送

ってやつたりそういう時代があったの。

蟹罐の親方の一人に中川仲蔵って人がいて、その人が鳥取の因幡の人なの。財閥でね、その人が因幡の美保神社からお札もらってきて、そしてつくったのが、清川的美保神社なんです。

船の神様だからって、六月十四・十五日に祭りがあって、海上渡業なんかあってそれは賑やかなものだったね。

まあ、蟹罐の親方が因幡の人だから、それで、清川にも因幡の人が多く集まってきたんだべな。もつとも、蟹、とるのに川崎のつたのは、富山から出稼ぎにきた若い人たちでした。辛抱で、ふんばってくれるんですよ。

私が見たのは、富山から出稼ぎにきた若い人たちでした。辛抱で、ふんばってくれるんですよ。

私が尋常科一年生のときにね

清川に大っきな大火があったね、今の道立病院あるところに、鯨場の番屋があつて、そこから火が出てね、風にあおらいじやって、清川が全滅したことあるんだ。

そのあとに美保神社たてたんですよ。

その神社もだいたい五十年ぐらいたつて、神社のうしろに道路がついたりするようになってから北見神社に合祀したんです。

もう蟹も鮓もとれなくなったからね。

因幡の人はね、鳥取に出雲大社あるから、神様の信仰ってことに真面目なんです。したから正月でもね、三が日は、男が朝



美保神社 50周年式年祭記念

汲んで、小豆餅煮て、神棚にあげてからでなきゃ、女を起さなかつたもんですよ。丸餅でね今はもう時代がかわったからね、したけど、親がやってたこと続けておかなければね。」

話者 熊中太郎さん 明治三十六年、鳥取県で生まれる。鬼脇清川在住 採訪 西谷栄治(町立博物館学芸員)

町内児童健脚を競う

～第4回 町内小学校マラソン大会～



今年も町内の小学生によるマラソン大会が九月二十二日、沓形市街地で開催されました。四回目を迎えたこの大会は、晴天に恵まれ日ごの練習成果を発揮するにふさわしいマラソン日和となり、選手たちは、沿道の観衆の声援に応え元気いっぱい頑張りに、新記録が続出しました。

大会の結果は次のとおりです。

◎一・二学年 (距離一・五km)

- 一学年男子
一位 佐藤 佑哉(沓小)
二位 神田 健(沓小)
三位 大腰 杏太(沓小)
- 一学年女子
一位 松枝 結花(沓小)
二位 佐々木恵理(沓小)
三位 竹口 恵(沓小)

二学年男子

- 一位 小坂 勝哉(沓小)
二位 熊谷 直哉(沓小)
三位 中村 友明(沓小)

二学年女子

- 一位 富山 香奈(仙小)
二位 長谷川裕美(仙小)
三位 酒本 綾香(沓小)

◎三・四学年 (距離三km)

- 三学年男子
一位 柴田 大介(沓小)
二位 小坂 勝敏(沓小)
三位 川代 峰(沓小)
- 三学年女子
一位 寺下 早織(仙小)
二位 齊藤ちづる(沓小)
三位 川口 美香(新小)

四学年男子

- 一位 小中 圭介(仙小)
二位 本堂 剛(沓小)
三位 高橋 渡(仙小)

四学年女子

- 一位 藤井 美和(仙小)
二位 井田 久代(仙小)
三位 加藤 絵里(沓小)

◎五・六学年女子 (距離三km)

- 一位 井田 順子(仙小)
二位 浅野 智美(新小)
三位 北島 美樹(沓小)

六学年

- 一位 山本ゆかり(仙小)
二位 小中真奈美(仙小)
三位 関 奈津絵(沓小)

◎五・六学年男子 (距離四km)

- 一位 小坂 隆敏(沓小)
二位 川端 一也(新小)
三位 河野 伸克(沓小)
- 六学年
一位 齊藤 智(沓小)
二位 高橋 哲也(仙小)
三位 宮森 哲平(沓小)

利尻町内小学校 マラソン大会最高記録

学年	距離	男女	タイム	学校	氏名	年度
1	1.5km	男	6・55	沓	石川 善宗	62
		女	7・24	仙	井田 久代	61
2	1.5km	男	6・33	沓	小坂 勝哉	1
		女	7・03	仙	寺下 早織	63
3	3.0km	男	14・53	沓	柴田 大介	1
		女	16・08	仙	寺下 早織	1
4	3.0km	男	13・59	沓	齊藤 智	62
		女	15・23	仙	藤井 美和	1
5	4.0km	男	18・35	沓	小坂 善一	62
	3.0km	女	15・11	仙	井田 順子	1
6	4.0km	男	18・23	沓	小坂 善一 齊藤 智	63 1
	3.0km	女	15・28	仙	山本 ゆかり	1

日本人の労働時間は欧米諸国に比べ年間約二百〜五百時間長く、諸外国から日本人は働き過ぎと言われていました。

このため、ゆとりある国民生活の実現、先進国としてよりふさわしい労働時間の水準確保、内需拡大などの観点から、週休二日制の普及を中心とする労働時間の短縮が行われています。

金融機関においては、本年二月より完全週休二日制を実施し、国が本年一月、道が本年七月、礼文町・東利尻町が本年四月から四週六休制を完全実施し、毎月の第二、第四土曜日の「土曜閉庁」を行い各地方公共団体も国に準じて労働時間の短縮を図っています。

本町におきましても、来年一月から毎月の第二、第四土曜日を閉庁する完全四週六休制を実施することになりましたので、町民みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、土曜閉庁を実施いたしますも、離島住民割引証の交付や急を要する各種届出等については受付いたします。

第二と第四土曜日は

役場等が閉庁になります。

平成二年一月から

◎閉庁する土曜日

平成二年一月からの毎月第二と第四土曜日

◎閉庁するところ

役場本庁、仙法志支所、教育委員会事務局、議会事務局

◎閉庁しないところ

各保育所、砕石事業所、国民宿舎、博物館、各学校、公民館（事務を除く）など。

※土曜閉庁に関する問い合わせは役場総務課総務係へ

平成2年1月						
日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	⑬ —(第2土曜日)
14	⑮	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	⑳ —(第4土曜日)
28	29	30	31			

閉庁する土曜日

※平成2年1月から毎月の第2、第4土曜日が休みとなります

法人の事業所は

社会保険に

加入を!!

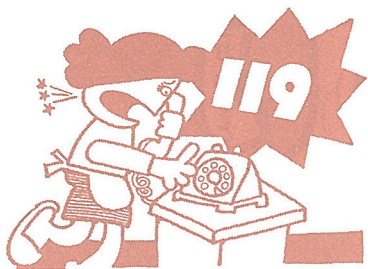
従来、社会保険への加入は五人以上で特定な業種の事業所に働く人に限られていました。

昭和六十三年四月からは、株式会社・有限会社等「法人の事業所」で働く人は、すべて社会保険に加入することが義務づけられました。

健康保険で病気やケガに対する備えを、そして、厚生年金で老後の生活保障をすることにより、従業員一人ひとりが安心して働く職場をつくることができます。

稚内社会保険事務所では、未加入の法人事業所に対し、すみやかに加入の手続きをするように呼びかけています。

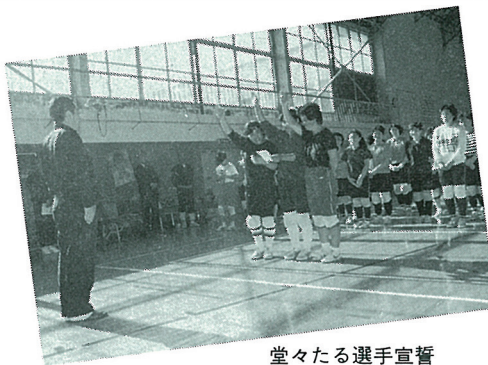
詳しくは、稚内社会保険事務所（〇一六二―三三―二三三番）へ問い合せください。



11月9日は、 「119番の日」です!

～消防だより No.37～

防火ルポ



堂々たる選手宣誓

熱闘、防火ミニバレーボール大会!

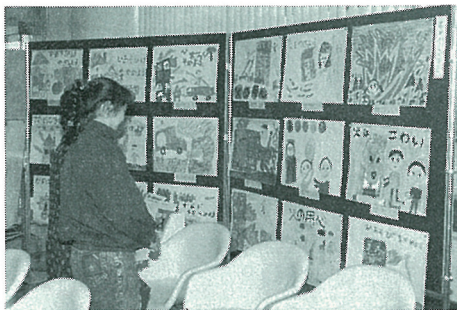
●10月15日、秋の火災予防運動行事の一つとして防火ミニバレーボール大会を開催。8チーム、40名が参加し、熱戦がくりひろげられました。



それ、アタック、それ、ブロック

力作ぞろいの防火ポスター展!

●このほど、信金のロビーをかりて防火ポスターコンクールを開催。保育園児と小学生から寄せられた200点以上の作品を展示しました。



さわやかな秋空の下で、 防火教室開催!

●10月9日と11日に、防火管理協会、沓形・仙法志婦人防火クラブでそれぞれ防火教室を開催。とっさのケガや急に倒れた時の心臓マッサージなど熱心に学習しました。



秀峰園を慰問 (仙法志婦防)



三角さんの使い方を学習 (防管協・沓形婦防)

9月の火災・救急出動件数 *火災 0件 *救急 11件



戸籍の

うごき

自 9月1日
至 9月30日

お誕生おめでとう
ございます



お祝いします

おくやみ
申し上げます

◎死亡

月日住所氏名年齢
%仙本町 藤田 勇 六九歳
%政泊 大島 義信 七四歳



このたび次の方から愛情銀行に金一封が預託されましたので紙上を借りてお礼申し上げます。
仙法志字政治 西島正道様から本人の病氣見舞返しを廃して
沓形字泉町 平野明男様から、母チノ様の香典返しを廃して
仙法志字本町 小練 一樣から妻あや様の病氣見舞返しを廃して

ご厚情に
感謝します

利尻島国保中央病院

婦人科診療のお知らせ(予定)

(期間)

- (1) 十一月二十七日～二十九日(三日間)
- (2) 十二月 四日～ 六日(三日間)

(医師)

- (1) 札幌医大産婦人科医 医局長 佐野敬夫先生
- (2) " " " " " "

受付は、午前中だけです。

詳しくは、利尻島国保中央病院へ問い合わせ下さい。

今月の納税 町道民税3期

(納期限は11月30日です)

(利尻町社会福祉協議会)

林地取得資金

(農林漁業金融公庫資金)の

貸付条件が改定されました。

森林経営の活性化を図るため農林漁業金融公庫の林地取得資金の貸付条件が改定され、サラリーマンなどの一般の方でも林業経営に意欲があれば、借り入れができるようになりました。

借り入れの方法は、取得したい林地の所在する森林組合を経由して道に申請してください。

問い合わせ先

- 利尻郡森林組合、宗谷支庁林務課、
- 宗谷支庁林業指導事務所、
- 農林漁業金融公庫北海道支店、道庁林業振興課

免許証更新時講習会

- 11月22日(水)
- 利尻町民センター(沓形)
- 午後6時30分～
- ※当日はボールペンを持参して下さい。

沓形・仙法志交通安全協会

道立鬼脇病院

休診のお知らせ

休診日 11月18日(土)

※薬だけの方も受け付けできませんので、ご留意願います。

発行 利尻町役場

編集 商工課広報交通係 ☎四二三四五番

印刷 (株)国境印刷